

いわて環境と人にやさしい 次世代モビリティ開発拠点

復興から次世代につながる先端的モビリティの創出

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…いわて自動車関連産業集積促進協議会
 学…**岩手大学**、**岩手県立大学**、**一関工業高等専門学校**
 官…岩手県、**岩手県工業技術センター**、
いわて産業振興センター
 金…岩手銀行、北日本銀行

地域イノベーション戦略

本地域は、自動車の土台をつくる金型・鋳造などの技術蓄積と、情報通信ソフトウェアの技術蓄積を有しており、これらを活用し、次世代モビリティ開発拠点に必要な技術開発を進め、震災からの復興を強力に推進します。具体的には、産学官金連携によって、自動車の大部分を占める鋳造・塑性加工の強化促進や、被災地としての防災ニーズ・課題及び、いち早く高齢化の進む地域として高齢化ニーズ・課題などを受け止め、ICT商品化を図っていきます。



プロジェクトディレクター 久郷 和美

略歴：関東自動車工業生産調達企画部長・岩手工場副工場長、ケイ・イー・プロテック常務取締役。

これまで本県に蓄積された自動車産業の基盤を軸に「いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点」を掲げ、世界と競争できる地域イノベーションの拠点として、科学技術による技術革新をベースに、震災からの復興と持続的な発展を目指して行きます。これを実現するため、本県の産学官金が「オール岩手」として総力を結集して推進し、東北の岩手を自動車産業の開発～生産の一大拠点とし、震災からの復興、県内企業の競争力強化を図っていきます。

事業の内容

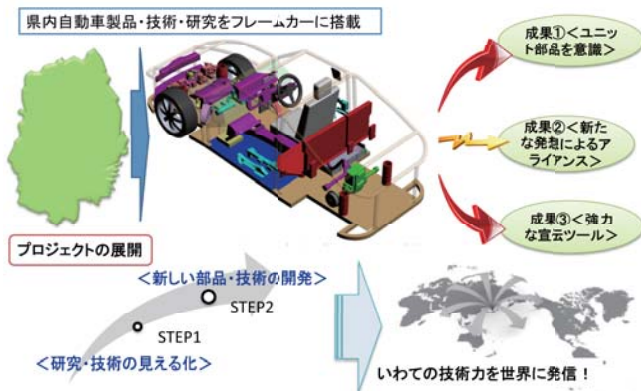
【全体計画及び成果】

研究開発テーマでは本県が強みとする金型・鋳造・デバイス・ICT分野において事業化に向け取り組んでいます。人材育成テーマでは、上記要素技術の人材育成に取り組んでいるほか、一関工業高等専門学校において、EV技術者の育成に取り組んでいます。EV技術者の育成において、県内企業と教材の開発し、製品化を行いました。設備共用テーマでは、岩手大学において、金型・鋳造・デバイス等の研究設備を導入し、産学共同研究施設「ものづくり研究棟」を新設しました。知のネットワーク構築テーマでは、自動車メーカー等とのニーズ・シーズマッチングプロジェクトや産学官の自動車技術の見える化等を目的にいわてショーケースカープロジェクトを展開しています。

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積
 (実施機関：岩手大学、岩手県立大学)
 自動車産業の基盤となる金型・鋳造・複合デバイス・ソフトウェア分野の研究開発に取り組んでいます。
2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施
 (実施機関：岩手大学、岩手県立大学、一関工業高等専門学校)
 専門的な要素技術を開発できる技術者等の育成に取り組んでいます。
3. 大学等の知のネットワークの構築
 (実施機関：いわて産業振興センター)
 企業等と大学等研究機関とのマッチング活動や様々なプロジェクトを展開しています。
4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化
 (実施機関：岩手大学、岩手県立大学、岩手県工業技術センター)
 自動車関連設備等の共用化支援を行っています。

いわてショーケースカープロジェクト



平成26年2月17日開催 成果報告会